

●前年度の取組及び本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
○実態に合わせた素材の用意、道具の使用により意欲的に表現活動に取り組み、表現する楽しさを味わう児童が多い。	○アイデアが浮かばないとすぐに人に頼り、様々な方法を試す試行錯誤する力がやや弱い。

●学年ごとの課題及び改善策等

学年	児童の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	○興味関心をもって、造形活動を楽しむ児童が多い。 ○表現したことや思いついたことを先生に伝えたい思いが強い。	○作品に対する思いを伝え、それを受けてよかった点を伝える場を設け、交流の時間を増やす。
2年生	○楽しんで授業に取り組んでいる。 ○ハサミの使い方やのりの塗り方など、細かな活動に抵抗がある児童がいる。	○道具の使い方では視覚的に示したり、学校生活の中で、はさみなどの用具を使う機会を多くもつ。
3年生	○絵よりも立体に表す活動に意欲的に取り組む。 ○絵の具の水加減や道具の使い方等、技能面で個別指導が必要な児童が複数いる。	○技能面の指導は、スモールステップで指導ポイントを示し、友だち同士確認するなど、ユニバーサルデザインの手法を生かした授業づくりをする。
4年生	○新しい材料や技法に関心が高い。 ○アイデアが浮かばない時に、さまざまな方法を試す試行錯誤する力が弱い児童がいる。	○個別指導の際に、つまづいている原因をいっしょに探し自信をもたせたり、友だちのアイデアを参考にしたりするよう声かけを行う。
5年生	○こだわりをもって取り組もうとする児童が多い。 ○アイデアが浮かばない時に、さまざまな方法を試す試行錯誤する力が弱い児童がいる。	○試行錯誤する過程の大切さも強調しつつ、つまづいている原因をいっしょに探し、友だちや図鑑を参考にしたりするなどしてイメージをふくらませるよう声かけを行う。
6年生	○新しい材料や技法に関心が高い。 ○「うまい下手」にこだわり手が進まない児童もいる。	○個別指導の際に、自分らしい発想のよさを強調し、自信をもって取り組むことができるように声かけを行う。

●学校全体で取り組む内容

○校舎内の日常的な作品展示で他学年を含めた作品鑑賞の活動を通して、よさや面白さに気付き、感じ取ることができるよう環境を整える。